

# 東浦町観光協会

織田信長・水野連合軍が、今川軍に勝利した戦い

## 1554年（天文23）村木砦の戦い（東浦町森岡取手）



令和 6年 5月 18日（水）  
（2024年）

東浦ふるさとガイド協会

酒井 建次

村木砦の戦い

1554年

初めて信長が  
鉄砲を実戦使用

桶狭間の戦いの  
6年前

長篠の戦いの  
21年前

# 「村木砦の戦い」とは

織田信長の名を天下に  
知らしめた

「桶狭間の戦い」の 6年前  
(前哨戦?)

\* 村木砦 (東浦町森岡取手) を  
守る今川軍と

織田信長・水野信元連合軍との  
戦いがあり、連合軍が勝利

\* 信長が、戦いで初めて鉄砲を使った



村木砦社の石碑  
後方が武豊線



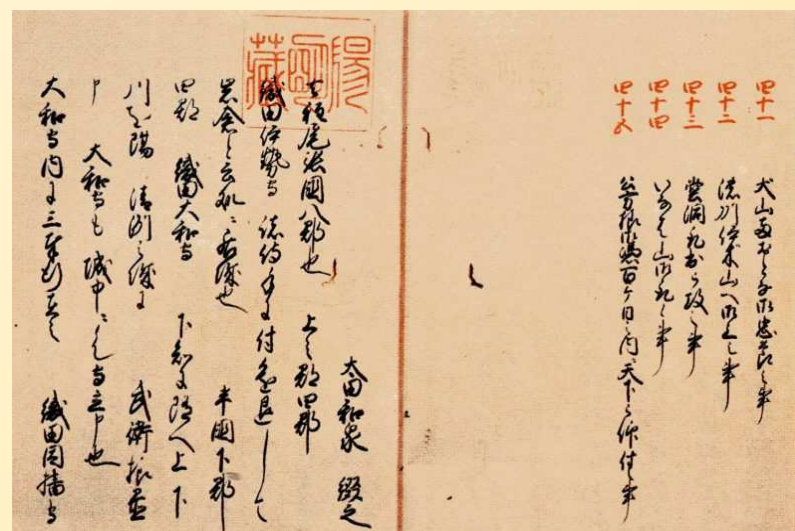


# 信長公記の「村木砦の戦い」

\* 1 「信長公記（しんちょうこうき）」

（太田牛一著首巻+全16巻）の  
首巻の16番

「村木の取出（砦）攻めらるるの事」



〈参考〉鉄砲の日本伝来は、11年前の天文12年（1543年）

織田・徳川連合軍VS武田勝頼軍長篠の戦いは、

15年後の天正3年（1575年）である。

# 東尾張と三河の勢力図 (1524年頃?)

- 室町時代後半、駿河(するが)と遠江(とおとうみ)を領有 (守護職)

する今川義元は、  
三河を攻略し尾張  
にも進出しはじめた

佐治氏




1524年：  
安祥4代松平清  
康が大草松平  
昌安の岡崎城を  
攻める

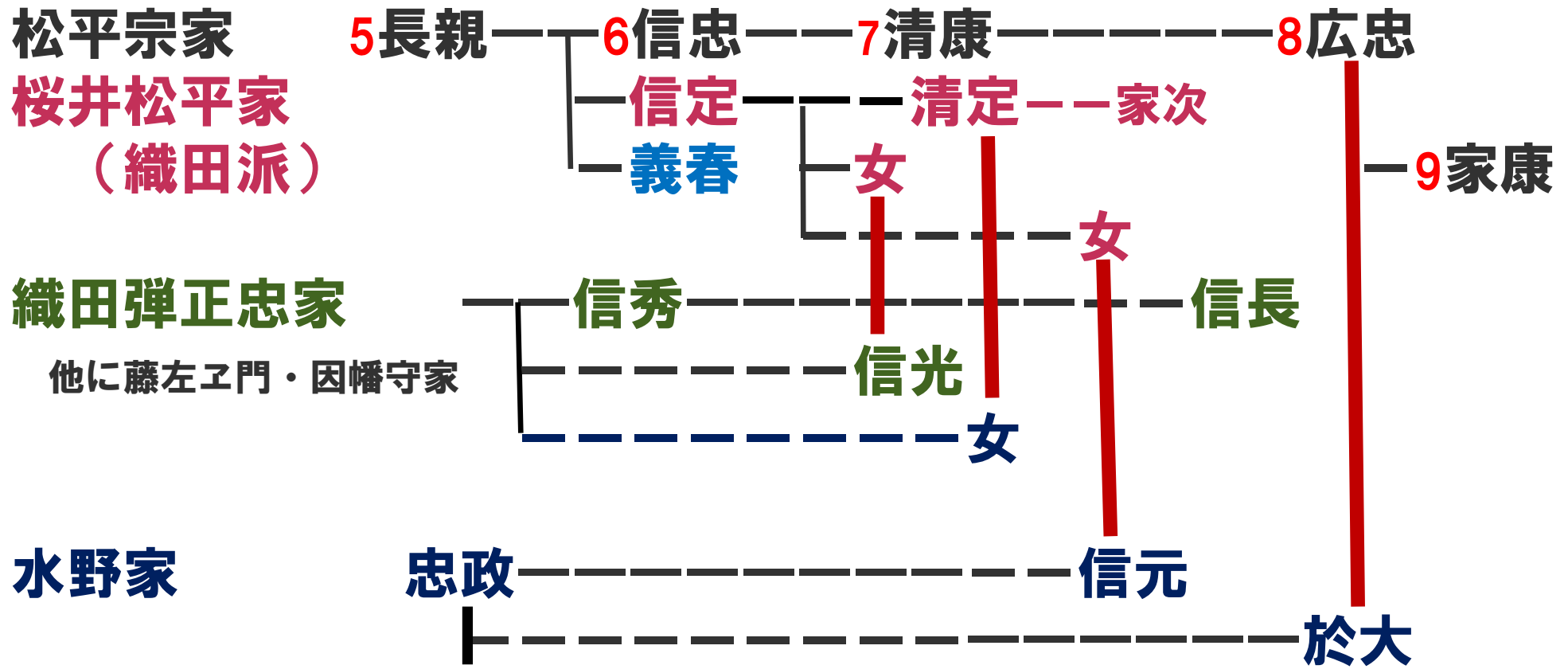
1525年：清康が  
足助城鈴木  
重政を墜とす



三河武士団の多くは  
1221年承久の乱  
後、関東から移住

# 当時の三者（織田・水野・松平）の婚姻関係 1

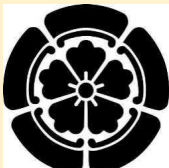

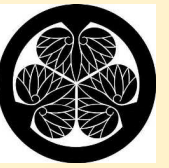
年	 <b>織田 信秀</b> <b>信長</b>	 <b>水野 忠政</b> <b>信元</b>	 <b>松平 清康</b> <b>広忠</b>
	信秀の妹が松平 信定嫡男清定の 正室	忠政の妻は、大草松平昌安の娘 →その子が信元、於上（おじょう） →信元の妻は桜井松平信定の娘	1526年頃 清康安祥城か ら現岡崎城へ

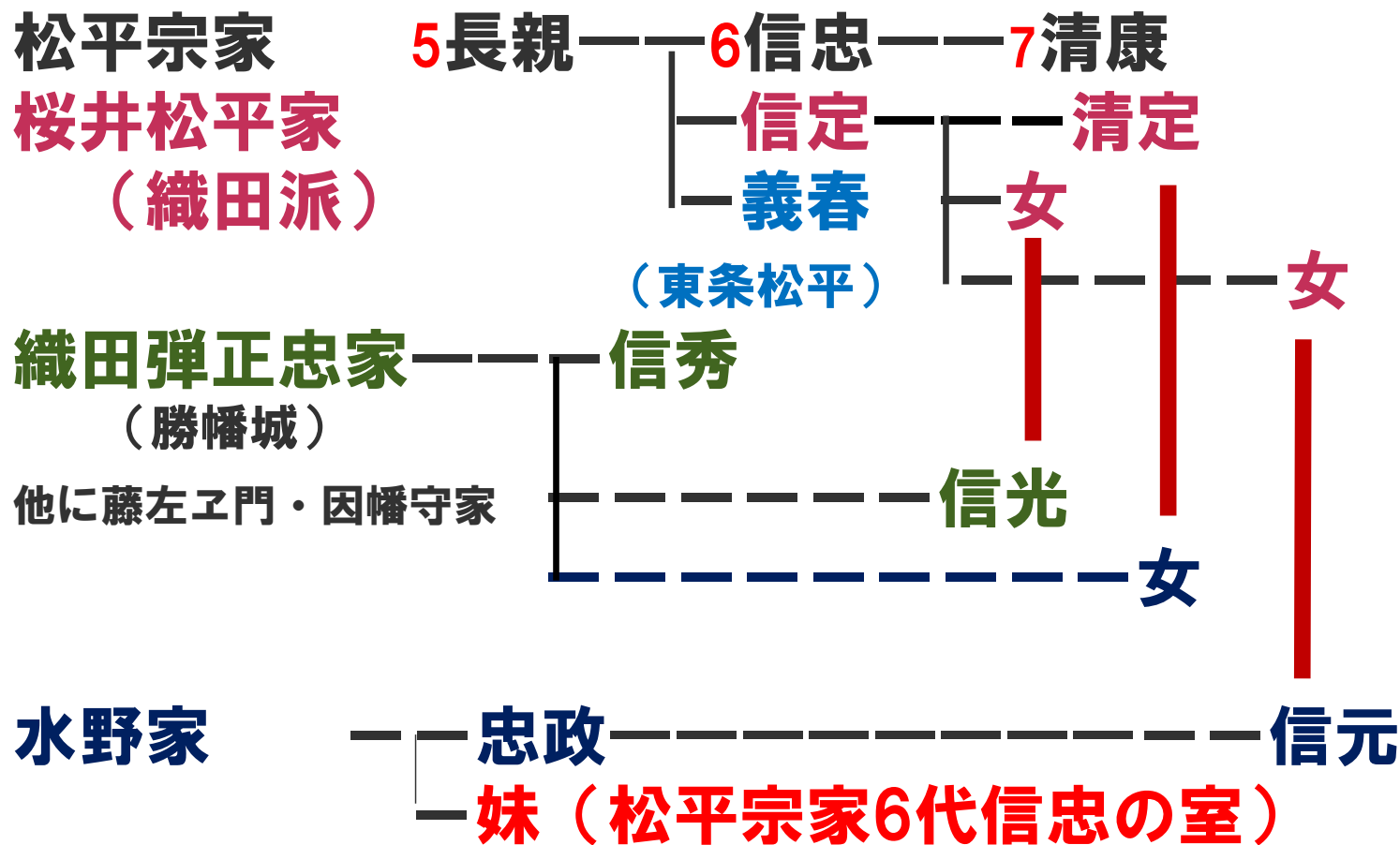


\* 於富（華陽院：後に清康へ嫁ぐ？）



# 当時の三者（織田・水野・松平）の婚姻関係 2

年	 <b>織田 信秀</b> <b>信長</b>	 <b>水野 忠政</b> <b>信元</b>	 <b>松平 清康</b> <b>広忠</b>
	信秀の妹が松平信定嫡男清定の正室	忠政の妻は、大草松平昌安の娘 →その子が信元、於上（おじょう） →信元の妻は桜井松平信定の娘	1526年頃 清康安祥城から 現岡崎城へ



桜井松平信定は当初から織田派弟義春は後に村木砦の城将

松平信定の娘は、織田信光と水野信元に嫁ぐ（信光と信元は義兄弟となる）

# 当時の三者（織・水・松）の関係

年	 <b>織田 信秀</b> <b>信長</b>	 <b>水野 忠政</b> <b>信元</b>	 <b>松平 清康</b> <b>広忠</b>
<b>大永年間</b> <b>1521~28</b>	<b>今川9代氏親が那古野城（現名古屋城）を築城（尾張進出）</b> <b>（信秀が、1538年今川氏豊（義元の弟）を騙して奪取）</b>		
<b>1533</b> <b>（天文2）</b>		<b>忠政刈谷城</b> <b>（亀城）を築城</b>	<b>松平宗家7代（岡崎城）</b> <b>清康 東三河へ進出</b>
<b>1535</b>	<b>織田信秀の弟</b> <b>信光が守る守山城を清康に攻められる。</b> <b>信秀・松平信定</b> <b>VS</b> <b>織田藤左エ門尉</b> <b>寛故（とおまさ）・</b> <b>松平清康</b>	<b>松平氏とは友好</b> <b>→</b> <b>水野信元守山城</b> <b>攻めに行軍中</b>  <b>←織田とも協力</b> <b>関係の</b> <b>←両面外交→</b>	<b>守山（森山）崩れ</b> <b>清康暗殺 享年25才</b>  <b>跡を広忠が継ぐが、</b> <b>祖父信忠の弟の</b> <b>桜井松平信定に岡</b> <b>崎城から追放される</b>



# 当時の三者（織・水・松）の関係

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1540	信秀安祥城を 落し、庶長子 信広を置く	←忠政 織田信秀の 安祥城攻めに加担	広忠 対織田の助 力を得るために水野 氏に縁談を申入れ
1541 (天文10)		於大14才 嫁ぐ→	松平広忠16才
1542 (天文11)			於大15才竹千代を (後の家康) 出産
1543		忠政 没し、 信元が継ぐ	
1544 (天文13)	信秀 水野信元 と同盟→	←信元織田信秀 と同盟織水同盟	←広忠 於大 (17才) を離縁

# 当時の三者（織・水・松）の関係

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1547	竹千代は熱田加藤屋敷へ。信長と出会う。信秀加納口の戦いで道三に負ける		竹千代人質として駿府へ送られる途中、田原城で戸田康光の裏切りで織田方へ
1548 (天文17)	織田信秀VS今川・松平広忠		織田との小豆坂の戦い
1549 (天文18)	信広：竹千代と交換  信長（16才）道三の娘歸蝶（濃姫）と結婚	 今川方の盛り返し	広忠 死去24才 今川義元の軍師 太原雪斎(たいげんせっさい)が安祥城を攻め信広を生け捕り。竹千代(8才、後の家康)は人質交で駿府へ。

# 当時の三者の関係

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1551  (天文 20)	<p>信秀没し、信長 (18才) が跡を 継ぐが、家内を まとめるに至らず。 織田本家2家 (岩倉・清州) とも 軋轢 (まさに内憂・ 外患の苦しい 時期だった)</p>	<p>今川方の 盛り返し</p>	<p>今川方は、 織田方の 重原城、沓掛城、 鳴海城、大高城 を自軍へ取込む</p>
1553  (天文 22)	<p>信長 斎藤道三 と初対面 富田の聖徳寺</p>		



# 当時の三者（織・水・松）の関係

年	 織田 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1553 (天文22)	救援を乞われるが直ぐには出れず	← 砦を造られた	池鯉鮒（ちりゅう）重原城から村木村を急襲し砦を造る
1554 (天文23)	<b>1月24日 8～16時 村木砦の戦い</b> （守る今川勢の将は、東条松平義春）		
1557 (弘治3)			松平元信16才（家康）と今川義元の姪瀨名姫（築山殿）と結婚
1558 (永禄元)		<b>1回目 石ヶ瀬川信元VS元康17才の戦い</b> 義元の命で水野を攻める	

# 村木砦の築城



天文22年 (1553)

今川方は、

地理的、戦略的に重要な知多半島北東部の

三河と尾張の境で衣浦湾に突出した**村木村** (現大字森岡) に、

池鯉附 (現知立市) **重原城**から**船で急襲**し、**砦**を築く。

# 村木砦の築城



これが「**村木砦**」であり、城将として、東条松平甚太郎義春（よしはる）を置いた。

東条松平は、5代松平長親が興した（息子たち）の福釜・桜井・藤井・青野（東条）松平家の一つ





# 織田信長の救援

なお、信長的那古野城の守りは、

岐阜城の斎藤道三から、安藤伊賀守守就（もりなり）ら  
1,000名の兵を借りて守らせた。

**（ VS 弟信行や清州城織田大和守信友 ）**



**\* 現在の名古屋城二ノ丸の 那古野城跡の碑**



# 織田軍の布陣

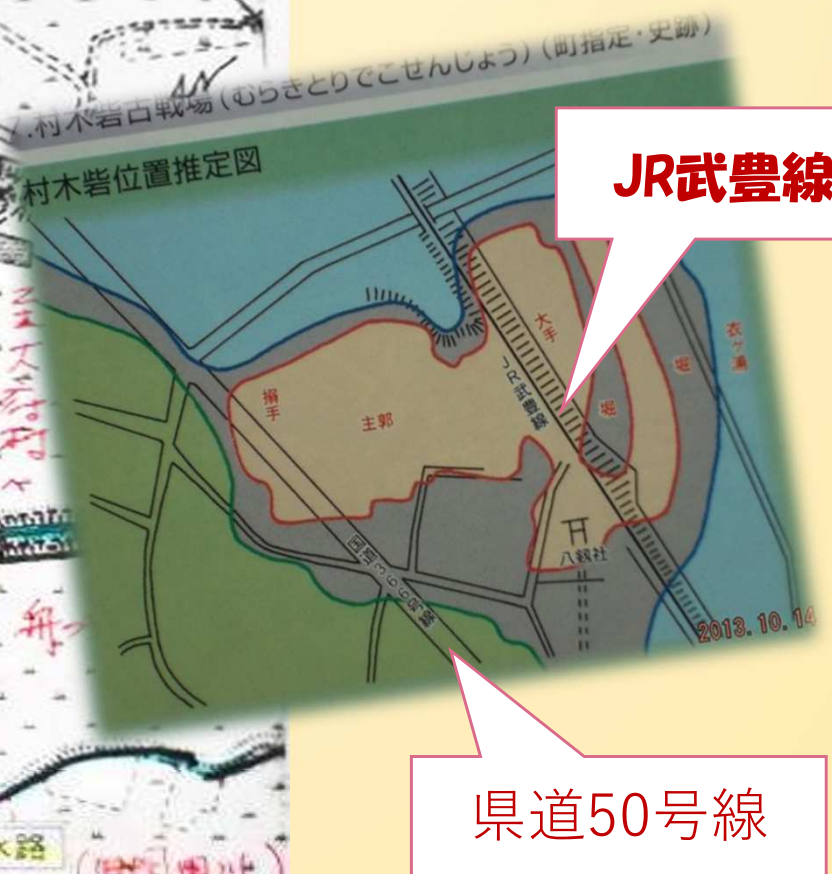


村木砦

織田信光軍  
後狭間

織田信長軍本陣  
天王社 (村木神社)

地図は1893年 (明治26)



JR武豊線

県道50号線



# 村木砦の戦い（当日）

天文23年（1554）1月24日

辰の刻（8:00）から始まり  
申の下一刻（16:00）頃に**勝利**

（布陣）

南の大堀：織田信長軍

戦いで初めて鉄砲を使った

西の搦め手：織田信光軍  
（信長の叔父）

東の海岸：水野信元・忠守軍



# 信長が戦いで初めて鉄砲を使った・・

## 信長公記より

・・信長堀端に御座候て、鉄砲にて狭間三ツ御請け取りの由仰せられ、鉄砲取りかへ取りかへ放させられ・・・  
実際には、数挺の鉄砲を取りかえて撃ったものと思われるが、音だけでも相当な効果があったのでしよう。

鉛玉2つが発掘され森岡小学校で保管していたが、移転の際、紛失してしまった由



DENIX  
種子島式火繩銃  
(中)

## 当時の価格

伝来時：5～6千万円

\* (諸説有：約1千万円～約1億円)

国産化した永禄時代：50～60万円

# 戦い後・・・

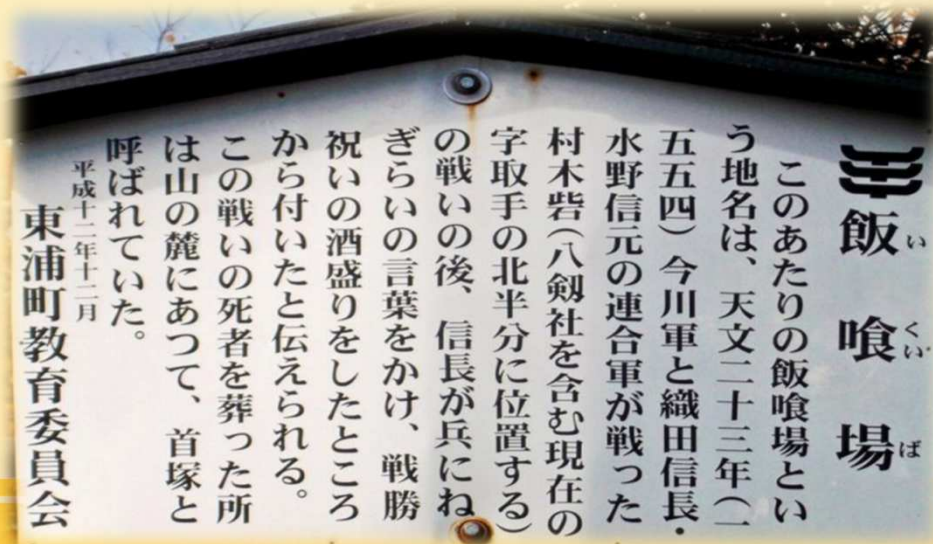
## 飯喰場 (いくいば)

織田・水野軍が祝宴を催した場所

信長が多くの家臣の死に涙を流した。

戦死者を葬ったと思われる所

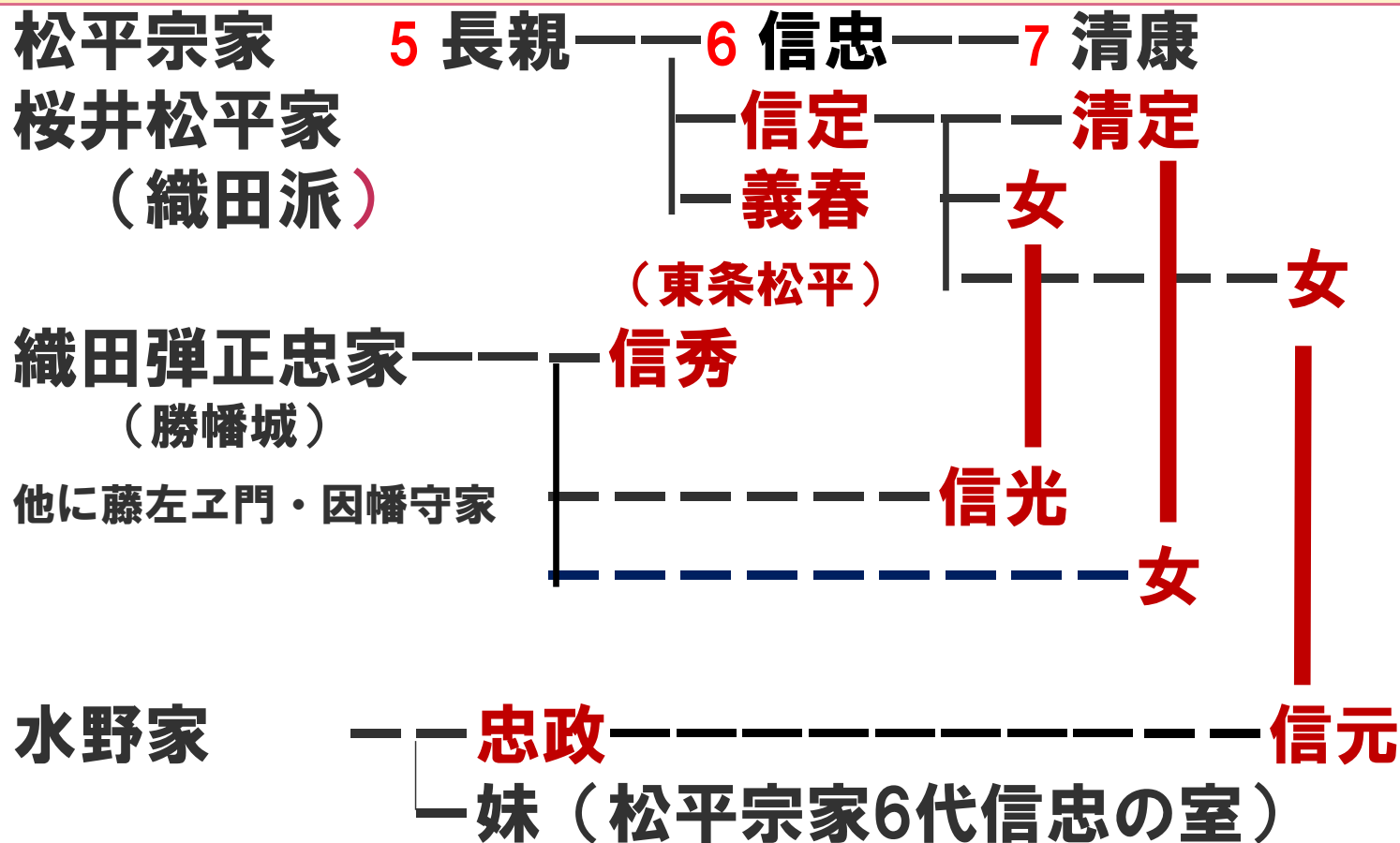
(首塚)もこの付近。





**\* 敗軍将兵の始末は信元に一任された**  
**信元は、将兵（三河兵？）を助命しま帰らせた**

**\* 当時の三者（織田・水野・松平）の婚姻関係から \***



松平信定の娘は、  
 織田信光と  
 水野信元に嫁ぐ  
 （信光と信元は  
 義兄弟となる）

「義春は信元の義叔  
 父(ぎしゅふ)になる  
 ため後々の松平との  
 関係を考えか？」

# 信長の帰陣と舅・斉藤道三の反応

翌25日、信長は寺本城下（裏切った花井氏）に火を放ち、那古野城へ帰った。

那古野城へ派遣した安藤伊賀守  
守就（もりなり）の報告を聞いた

斉藤道三は、

「すさまじき男、

隣にいやなる人にて候よ」

と申したる由



寺本城跡

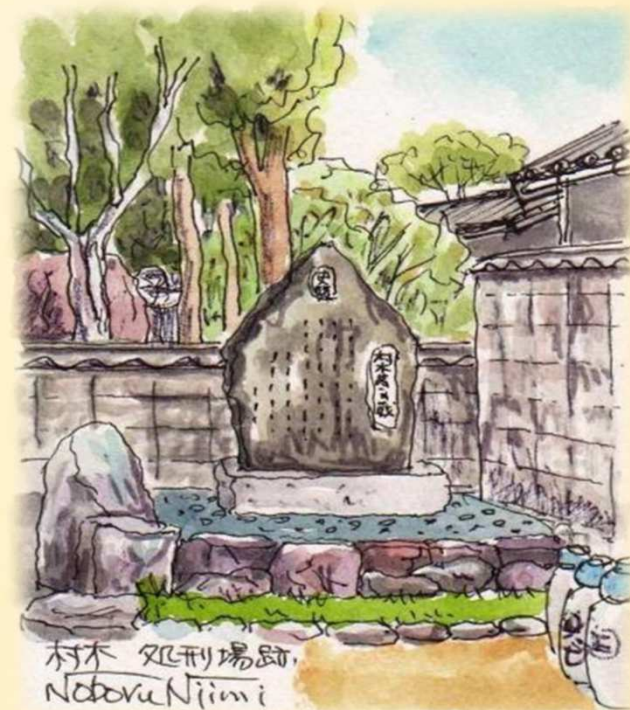


稲葉山城

# 村木村村民の悲劇

## 処刑場跡

- 「村木砦の戦い」で、無理やり今川方に協力させられ村木村の人たちが、信長の命で反逆者として村役人によって処刑された場所。
- その後、村木村に移り住んだ
- **水野氏の一族の子孫が、祠(ほこら)をつくり供養した。(観音会：かんのんえ)**
- 現在も、供養は続いており、東浦ふるさとガイドが毎年お参りしている  
\* **(2020年からは中止している)**





# 戦いの慰霊 その2

## 八劔社 (やつるぎしゃ)

戦いの17年後の1571年

(元亀2)、水野信元家臣

清水八衛門家重・権之助政春兄弟が、

**犠牲者・戦死者への慰霊の**

**ために** 砦南東の端に建立したものの

この付近には、**取手(とりで)貝塚**があり、

製塩土器のかけらも出土している



2013. 10. 12



# 村木砦の戦い 勝利の意義（結論）

1. **勝利した 織田信長** にとっては
  - (1) この後、家内外の争いを収め、  
**尾張全郡（52万石）を征し、**  
6年後の **桶狭間の戦い** を迎える準備ができた。
  - (2) そして、**信長は戦いで初めて鉄砲を使った**

**もし戦いに負けていたら、後の信長はなかった**

（後の家康にとっては、**小牧・長久手の戦い** に相当か）

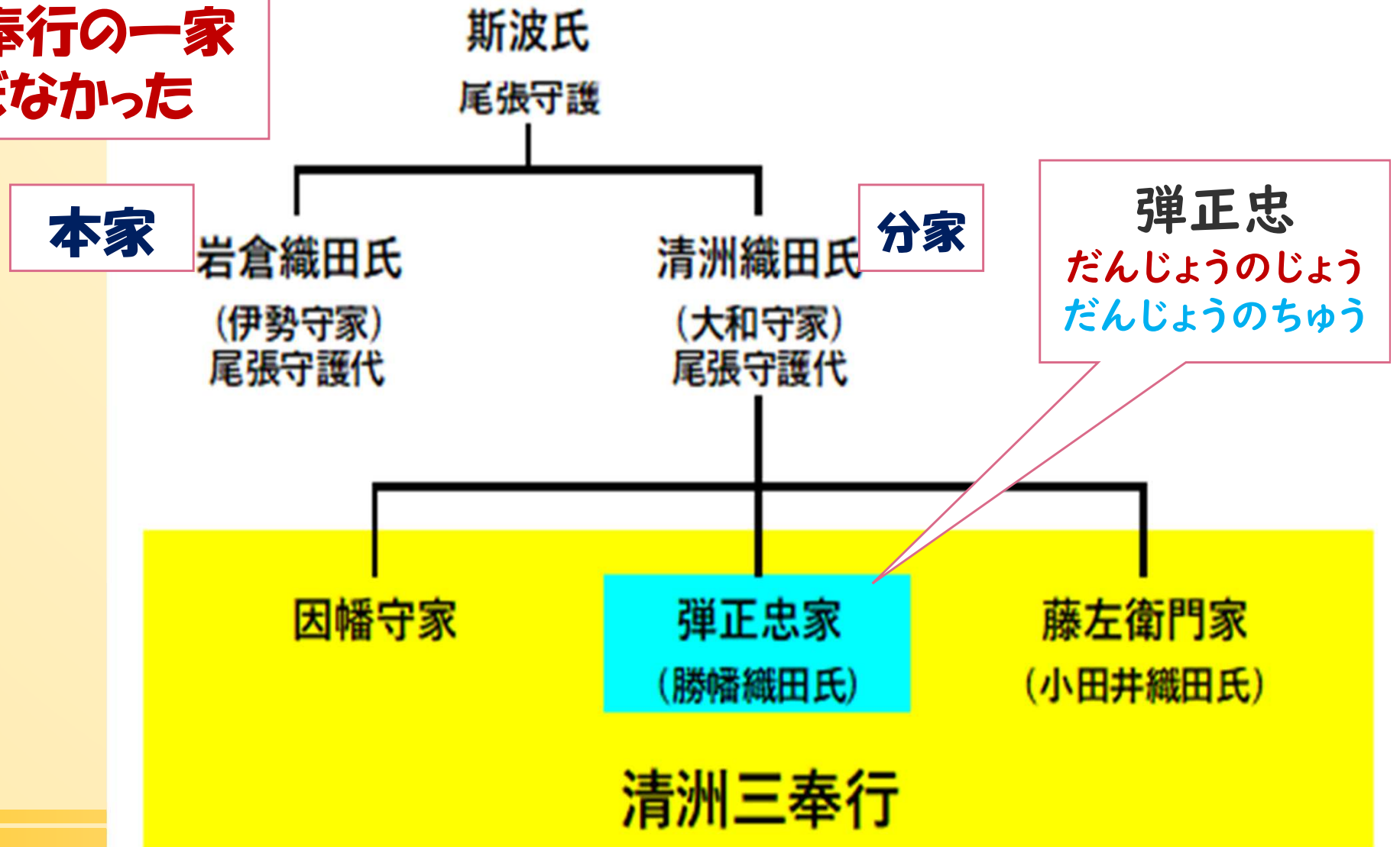
2. **水野信元**については、

**織田方との同盟を鮮明にして11年、その立証ができた**

# 信長の家督を継いでから桶狭間の戦いまでの9年間

織田弾正忠家は、  
守護代織田家の分  
家の三奉行の一家  
に過ぎなかった

## 尾張国の守護・守護代と清洲三奉行





# 家督を継いでから桶狭間の戦いまでの9年間

**内憂**：実弟信行（母 土田御前 **どたごぜん**）



重臣（林美作 **みまさか** 兄弟、柴田勝家）の離反

**外患**：鳴海城山口乗継が離反し、隣接の沓掛城・

大高城も離反

主家の清州城 織田大和守信友、

本家の岩倉城 織田伊勢守信賢 との軋轢

# 家督を継いでから桶狭間の戦いまでの9年間

西暦(年)	和暦(年)	出来事
1551	天文20	信秀没し、信長(18才)が家督を継ぐ 鳴海城山口乗継が離反し、隣接の沓掛城・大高城も離反
1552	天文21	今川勢が、織田方の知立重原城を奪取 赤塚の戦い: 信長今川方鳴海城主山口教吉(のりよし)と戦う 萱津の戦い: 信長・信光が、清州城主織田信友と戦う
1553	天文22	* 信長、舅斎藤道三と聖徳寺(一宮)と初会见 今川勢 重原城から船で急襲し、「村木砦」を築く

# 家督を継いで桶狭間の戦いまでの9年間

西暦(年)	和暦(年)	出来事
1554	天文23 (21才)	<b>村木砦の戦い</b> （桶狭間の戦いの6年前） <b>織田信光</b> が尾張下四郡清州城主 <b>織田信友</b> を謀殺し、 <b>清州城へ織田信長</b> が入る。（24万石を収める）
1555	弘治1	叔父 <b>織田信光</b> が不慮の死（暗殺か？諸説あり）
1556	弘治2	齊藤道三が義竜（反信長）との戦いで没（後盾を失う） <b>稻生の戦い</b> （名塚砦:西区）： <b>織田家の内紛</b> <b>信長</b> ＋ <b>佐久間盛重</b> ＋ <b>森可成</b> VS <b>弟信行</b> （末森城）＋ <b>柴田勝家</b> ＋ <b>林美作守</b>  信長、生駒屋敷で、6才年上の吉乃（きつの）と出会い、 翌年 信忠誕生



白山社（名塚）



# 家督を継いで桶狭間の戦いまでの9年間

西暦(年)	和暦(年)	出来事
1558	永禄元	<b>浮野（一宮）の戦い</b> ：信長、岩倉城主織田信賢と戦う <b>信長、弟信行を清州城に呼び出し殺害</b>
1559	永禄2	尾張上四郡28万石守護代岩倉城主織田伊勢守信賢を征し、 <b>尾張全郡52万石</b> を収める (従兄弟の犬山城織田信清も含む) <b>岩倉織田家の家老山内盛豊は一豊（5才）の父</b>
<b>1560</b> (6月10日)	<b>永禄3</b> 5月19日	<b>桶狭間の戦い</b> ：織田信長27才、今川義元42才 信長2,000 VS 今川25,000

# 「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 松平 元康
1560 (永禄3)	桶狭間の戦い 	信元が元康へ使者→ 岡部元信鳴海城から 撤退時刈谷城を急襲 信近討たれる ??	信元の進言で、大高城 から撤退し、岡崎城へ 入城 (駿府へ帰陣せず)
1560 1561		2回の石ヶ瀬の戦い (信元VS元康)	
1562 (永禄5)	尾三(清洲)同盟	←同盟を斡旋→ (織水松 同盟)	尾三(清洲)同盟
1563	清州城→小牧山城 へ	信元・忠重が 元康を助けた→	三河一向一揆で苦戦 三河三寺と末寺220 上宮寺、本證寺、勝鬘寺 元康→家康に改名
1564		元康を助けた→	三河一向一揆を鎮圧

# 「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 徳川 家康
1566	美濃攻略のため、 <b>墨俣城を築城</b> 側室 <b>吉乃</b> 病死39才←信忠、信雄、徳姫の母		東・奥三河国を平定 松平→ <b>徳川</b> に改姓
1567 (永禄10)	近江浅井長政と同盟。 <b>お市の方を送る</b> 稲葉山城斎藤竜興を落とす→ <b>岐阜と改名</b>		長男竹千代9才は、 信長長女徳姫9才と 結婚 竹千代「 <b>信康</b> 」に改名
1568	足利義昭・信長 <b>上洛</b>	←信元も上洛	
1570	朝倉・浅井 <b>姉川の戦い</b>	佐和山城を攻める	姉川の戦いに参戦 岡崎城→浜松城へ

# 「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 徳川 家康
1572		信元 浜松城で 家康を助ける→	武田信玄に三方ヶ原 の戦いで完敗し 浜松城へ敗走
1573	信長 将軍義昭を 追放		武田信玄 伊那駒場 にて労咳で没す
1575 5月	<b>長篠の戦い</b> 織田・水野・徳川連合軍 VS 武田勝頼 → (滅亡)		
1576 1月 (1575)	信長、佐久間信盛 の諫言を受け、家 康に信元殺害を 命じる	信元 武田との 内通を疑われ殺 される 織田・徳川合意か？	家康 大樹寺へ久松 俊勝に案内させ信元を 呼出し殺害 重臣の平岩親吉、 石川数正が殺害 (於大の方は恨んだ)



# 「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 徳川 家康
1576	<b>信長安土城へ</b> 緒川・刈谷城とも讒言した佐久間信盛領となる <b>(水野氏離散)</b>		
1579	信長が徳姫からの訴状を受け家康に信康の <u>処刑</u> を命じたとされる		<b>家康の決断</b> 信康 二俣城で切腹 築山御前 殺害 三男 秀忠誕生
1580	<b>佐久間信盛</b> <b>大阪石山寺攻めで</b> <b>責められ追放</b>	<b>水野氏の再興</b> 忠重は信元を継ぎ 刈谷城へ、忠守は 緒川城へ <b>復帰</b>	 <div data-bbox="1906 1297 2114 1362" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">刈谷城</div>
1582	<b>本能寺の変 信長没</b>	家康の3大危機 1三河一向一揆 2三方ヶ原の戦い	<b>堺 → 伊賀越え</b> <b>岡崎城へ帰還</b>

## 参考文献 など

東浦町誌

東浦町誌 資料編

東浦歴史散歩

歴史散策路 於大のみち

於大の方と水野一族

ああ緒川城 於大への思い

村木砦の戦い

東浦の歴史と文化 2017

(東浦ふるさとガイド協会 発行)



これ以外にも、インターネットなどで調べた項目もあります。

ご静聴 ありがとうございます  
ございました